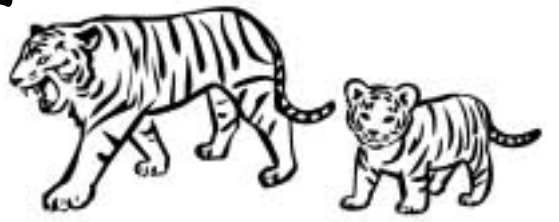


# 東京商工新聞

第477号  
 発行 東京商工団体連合会  
 〒116-0013 荒川区西日暮里6-62-1  
 電話 03-5692-5081  
 F A X 03-5692-5091  
 発行責任者 井賀眞一

ホームページ [東商連](#) | 検索 | 電子メール [mailadm@toshoren.jp](mailto:mailadm@toshoren.jp)

## 明けましておめでとうございます 本年もよろしくお祈りします



事業復活支援金を活用して営業を守りましょう  
 東商連会長 星 実

あけましておめでとございます。新型コロナウイルスが蔓延して早2年がたちました。昨年末は感染者が減り、このまま落ち着いてくれるかと思いましたが、新しいオミクロン株が世界中を席巻しています。昨年年初から非常事態宣言やまん延防止等が出され、東商連の常任理事会や理事会などはウェブで開催し、支部役員会や班会も顔を合わせて話し合っことがあまりできませんでした。この秋には緊急事態宣言が解除され飲食業の方

の営業時間が緩和されまじ、集まりを計画していただきました。昨年11月から今年3月までの5か月間で30%から50%の売上減少に對して、以前出し、持続化給付金の再支給として、「事業復活支援金」が昨年末に補正予算が実現しました。この制度をまわりの業者にも知らせ、「民間に相談したら」と声をかけ、事務局長は確定申告の時期と重なり、相談者が殺到すると思われ、役員さんも協力して相談員として活躍できる場をつくってほしい。



「たかひの交流」では、兵庫、神奈川、沖縄、北海道、滋賀の6県婦協が代表発言。兵庫はこの間行ってきた部員への声掛けや訪問活動を紹介します。「年末、声を掛け合うことが大切」と強調し、民間と一緒に年間増勢をめざす決意を語りました。神奈川は飲食店のママたちとのマスカラン

10月4日に絵手紙教室を再開した葛飾民商婦人部。「元気があった」と声をかけあう参加者たちの久しぶりの再会に笑顔がこぼれました。この日は早めに来年の干支になるトラの置物に色付けをしました。また、今年も「絵手紙（葛飾民商 石澤 清子）



トライあるのみ  
 素敵な一年を  
 干支に思いをこめて...  
 葛飾民商婦人部



10月4日に絵手紙教室を再開した葛飾民商婦人部。「元気があった」と声をかけあう参加者たちの久しぶりの再会に笑顔がこぼれました。この日は早めに来年の干支になるトラの置物に色付けをしました。また、今年も「絵手紙（葛飾民商 石澤 清子）

## 知らなかった教えてくれてありがとう! 商店街宣伝行動 蒲田民商

12月5日に開催された業者婦人決起集会は215力所から1100人（東京は8力所から約50人）以上が参加しました。北海道から沖縄まで全国各地をオンラインでつなげたエール交換は宣伝グッズでアピールしたりととても賑やかでした。東京も東商連会館に参加した皆さんも、インボイス中止や中小業者支援を求め、仲間と手を携えて今年1年ともがんばりましょう。

「たかひの交流」では、兵庫、神奈川、沖縄、北海道、滋賀の6県婦協が代表発言。兵庫はこの間行ってきた部員への声掛けや訪問活動を紹介します。「年末、声を掛け合うことが大切」と強調し、民間と一緒に年間増勢をめざす決意を語りました。神奈川は飲食店のママたちとのマスカランの内容を報告。協力金の課税額を知ってショックを受け学習会を開催したことも紹介し、税額の試算運動を呼びかけながら協力金の課税問題を話しました。沖縄は玉城デニール知事が辺野古新基地建設の設計変更申請を不承認したことを支持し、来年1月に行われる名護市長選にむけて奮闘する決意を全国の仲間と交流しました。



全国の仲間と団結!

蒲田民商は11月20日に、二木和雄拡大推進委員長を先頭に秋中商店街、日の出通り商店街、蒲田本町商店街の各商店に月次支援金や民商の実績を紹介したチラシと、商工新聞の見本紙を各商店に配布しながら宣伝しました。「うちは売上が50%も落ちていない」と話すパン屋さんに「50%落ちていなくても、30%の間の減少率でも50%の間の減少率でも東京の月次支援金は申請できますよ」と東京都の月次支援金が7月分から増額されていることも紹介すると、「初めて聞かされた」と民商事務所に問い合わせが入ってきます。月次支援金の対象になる多くの対象者が制度を理解せずに取り残されています。民商では「申請は済みますか」「民商に相談してください」と呼びかけを行っています。



この間、行っている支援金の対象になる多くの対象者が制度を理解せずに取り残されています。民商では「申請は済みますか」「民商に相談してください」と呼びかけを行っています。

参加者たちは「全国の仲間とエール交換できて元気が出た」「全国の活動を自分たちの婦人部活動にも取り入れたい」との感想を話し合いました。

